

SEG 中3多読保護者アンケートの回答とそれに対する SEG のコメント

2015/5/31

SEG 英語多読コース

文責 古川昭夫

中3多読クラス保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者の方から、アンケートで多数のご回答・ご意見・ご質問をいただきました。以下、○は保護者の皆さんからのご意見・コメント、■はSEGからの返答とコメントです。紙面の都合によりすべてのご意見に対してコメントを掲載しておりません。また、頂いたコメントに一部加筆修正を加えさせていただいた箇所がございますのでご容赦ください。

Q1 お子様はSEGの多読クラスが多読パートについて、どのようにお話をされていますか

◇中3多読Eクラスのアンケートから

■中3になり、Eクラスでは、多くの方が、1冊5000語以上の本を安定的に読めるようになりつつあります。また、中には1万語を越す本も読めるようになっている方も出てきています。中3、高1は、多読の花が咲いてくる時期ですので、ぜひ、だんだんと長い本にもチャレンジしていきましょう。一方、この春から始められた方も、1冊2000語程度の本が安定的に読めるようになりつつあります。新しく始められた方は、ここで焦らず、ゆっくと長さの長い本に慣れていっていただきたいと思います。

○色々な本が読めてすごく楽しい。

○本人の希望にぴったりと合った本を選んでもらえるので楽しいと言っています。また高校受験用の長文もすらすら読めるようになったようです。

○楽しいと言っています。

○実力がついてきていることを実感している。

○読めるジャンルが広がってきて充実しているようです。

○とても楽しい。

○中3になり読み応えが出てきて、より楽しくなっている。

○本を読むことが楽しいと言っています。

○とてもためになると言っております。

○色々な本が読めて楽しい。

○レベルにあった本を選んでいただき、楽しみながら学んでいます。

○子供の性格にあった本を選んでいただけるので喜んで読んでいます。

- 家ではなかなか読むことができないので、クラスでは読まなければと思っているようです。
- 時々「この本面白いよ」と見せてくれるくらいで、様子を話すことはなくなりました。
- ちょっと退屈になっているのか、多読に身が入らなくなっているかもしれません。目標を自身で持てれば良いのですがなかなか立てられず、面倒なことを嫌がる年頃なのか、もう少し自分で頑張してほしいと思います。
- この時期は、どんどん読める本のレベルが上がるといったことはないので、ややマンネリになりがちです。一方、2年間の蓄積で、ある程度読めるようになっていきますので、いろいろな種類の本を読んでもらって興味を持続するよう私達としても心がけたいと思います。
- 少し早めに伺った時も、音読など熱心にご指導いただいていると申しております、有難うございます。
- この間入会したばかりですが、教室の本棚にたくさんの本があってびっくりしたとのことでした。
- 先生が自分の好きなジャンルを選んでくださって、読むのが楽しいです。また語数の多い本と比較的少ない本を組み合わせてくださいるので、無理なく読めます。
- 読書が好きなので楽しく多くの本を読めるところが気に入っているようです。分からない単語はすべて飛ばしてひたすらガンガン読み進めているそうです。
- 多読は、「わからない単語を飛ばして、大意をとってガンガン読む」と、「できるだけ意味を正確にとってじっくり読む」の両方が大切です。今は、「ガンガン読む」ので良いですが、そのうち「やさしめの本を正確に読む」ことの楽しさも味わって頂くよう本を薦めたいと思います。
- 面白い本もある。
- 読解力向上の役に立っている。
- どのように子どもが参加しているか知りたいです(楽しいようですが具体的には話しません、わたしもあえて聞きません)。
- お子さんは、自分の気分によって、「やや難しめの本」、「やさしめの本」を自ら希望されているので、それに合わせて選書させていただいています。SEGにはやさしいけど面白い本も多数用意してあります。「やさしめの本」を自分で希望する方は、精読的な多読ができるようになるので、英語力は着実に上がります。その点で、お子さんはこれからさらに英語力が着実に上がっていくと信じています。
- 自分からすすんで英語の本を読むという機会はなかなか作ることができないが、多読によりいろんな本を読むことができ楽しい。
- まだ、入会されたばかりなので、やさしくて短いものから読み始めてもらいましたが、除々に長いものも読めるようになってきています。これからは、「やや長いもの」と「気楽に読める短いもの」を併用して読書力・英語力を上げていきたいと思っています。
- 自分にあった本を選んでくれ、量もちょうど良いのでこのペースでやっていきたい。
- 楽しく勉強できるようです。SEGで多読に出会ってから英語の成績が大幅にアップしました。
- 嬉しい報告ありがとうございます。

- やさしい本がどんどん読み進められて楽しい。
- 読む本の語数も増え、やりがいも出てきているようです。
- たくさん本が読めてうれしい。
- レベルが高くなり刺激になっていると答えています。
- 本を読むことは好きなので、合っている。たくさん読みたい(あまり時間はないですが)と言っています。
- 楽しいので良いそうです。
- 最近本のレベルが上がって楽しくなってきました。
- 平日本を読む時間が取れないことが悩みです。
- 日頃部活や毎日の学習に忙しく、ゆっくり英語の本に目を通す時間がないので、集中して英語の世界に没頭できる貴重な時間と申しています。またクラスの優秀な他校生の皆様との交流も大きな刺激のようです。
- 題材に面白いものもある。
- 引き続き読むことを楽しんでいきます。少しずつ自然に自力読みをしているようです。
- 自分の好きな本を英語で読めるようになることが楽しいと言っております。
- 英語の本が読める達成感がある。

◇中3多読Dクラスのアンケートから

■中3になり、Dクラスでは、多くの方が、1冊2000語程度の本を安定的に読めるようになりつつあります。また、1冊5000語を越す本も日常的に読まれる方も出てきています。一方、「飛ばし読み」に偏りすぎて、「じっくり読む、高い理解度で読む」経験が足りない方もいます。中3のこの時期、「量を読む」と同時に「しっかりと読む」癖をつけることが大事ですので、やややさしめの本を多めに薦めています。一方、この春から始められた方は、1冊500-1000語程度の本が安定的に読めるようになりつつあります。新しく始められた方は、ここで焦らず、ゆっくりと長さの長い本に慣れていっていただきたいと思います。

○クラスが変わってから宿題の本のレベルが簡単なので、もう少し難しいものを読みたい、と言っています、(ただ親としてはテスト結果に応じた選書なのかな、と思っております)。

■生徒さんが高い理解度で読める本を中心に渡していますが、選書にあたって、ご本人の希望も鑑み、「難し目の本」と「やさしめの本」のバランスをより一層とるようにしたいと思います。

○適切に本も選んでいただけているようで、ためになっているようです。

○色々な本が読めて楽しい。

- 長文を読むスキルは確実に上がる。難しい単語を思い出すことができる。
- 思っていた以上にたくさん読むことができて自信がついてきた。
- 好きなシリーズを中心に選んでくださっているようです。その中で選択肢を与えてくださり、自主的に選ぶという形をとってくださっているので、本人も満足しております。分量的には授業内で読み切れる量になっております。
- 読むパートは簡単すぎてつまらなくなってきた。
 - 生徒さんが高い理解度で読める本を中心に渡していますが、選書にあたって、ご本人の希望も鑑み、「難し目の本」と「やさしめの本」のバランスをより一層とるようにしたいと思います。
- 担当の先生が大好きで、喜んで通っています。
- 自分で速くたくさん読める実力がついてきた、と実感し始めています。
- ORTばかり続くので飽きてしまい、このままでは嫌いになりそう。違うタイプも織り交ぜて読めたらいいのに、と希望しております。
 - 担当の先生にはご希望をお伝えしました。生徒さんが高い理解度で読める本を中心に渡していますが、ご本人の希望も鑑み、「難し目の本」と「やさしめの本」のバランスをより一層とるようにしたいと思います。
- 先生とちょっと相性が合わないようなことを申ししておりました。絵を見て理解しているところもあり、これで良いのか迷いがあるようです。
 - 絵は文章を理解するためにあるので、絵を見て本文の英文が理解できるのであれば、それで構いません。絵を見てストーリーは分かるものの、英文自体の理解ができないということであれば、別のタイプの本やよりやさしい本を読む必要があります。
 - 多読は、先生と生徒の1対1の指導の側面が強いです。先生方には一人ひとりの個性を見ての指導を依頼していますが、相性が合わなくてクラス変更をされる生徒さんもおります。夏期講習等で他の先生を試されてより相性の良い先生が見つければ、遠慮なくクラス変更を申し出てください。
- たくさん本を読めて長文も苦にならない反面、きちんとした和訳はあまりできなかつたり、スラッシュリーディングを勧められても余計に読みにくいと感じるようで、違った角度からの学習も必要なようです。でも多読がなかったら英語は苦手だったと思います。
- 自分のペースで集中して読むことができると言っています。
- 分かりやすい授業だと申ししております。
- 自分の好きな分野の本等、無理のないレベルから先生にアドバイスいただいてたくさん読めるので、とても楽しみにしています。
- 楽しく本を読んでいる。
- 元来読書が好きだったので楽しいそうです。幼いころも絵本の挿絵を見ながら読めない漢字は想像して本を読んでいたそうで、その頃に似た感じだと申ししております。

- 楽しく通っています。だんだんと高度な内容の本が読めるようになったところに自分自身の成長を感じているようです。
- 長いお話も読むようになり楽しいと言っています。
- 静かなので集中して本を読めて良い。
- 沢山の英語の本を読むことにより、他のテスト等での長文をスムーズに読み進めることができるようになった。また、本の中の文章内容から海外の生活習慣についても知ることができた。
- 楽しいと言っております。
- まだスタートしたばかり(春期から)ですが、すらすら読めているようです。内容もよく分かると申しております。
- 読書が好きなので楽しい、と言っていました。
- 最近あまり話さないのは、順調だからなのか、以前ほど熱心でなくなったからなのか不明です。
- 楽しい。
- リスニングが非常に良くなったのを実感しています。ただボキャブラリーや文法は不安のようです。
- 楽しく取り組んでいるということです。
- 自分の好きな本を先生が選んでくれるので、読んでいて面白いそうです。
- 中2の時より読むことが楽しくなった。
- 自分のペースで学習できて良いと思う。
- あまり話しません。

◇中3多読Cクラスのアンケートから

■中3になり、Cクラスでは、多くの方が、1冊1000語程度の本を安定的に読めるようになりつつあります。また、1冊2000語を越す本も日常的に読まれる方も出てきています。一方、中3のこの時期、「しっかりと読む」癖をつけることが大事ですので、やさしめの本を多めに薦めています。1冊1000語-2000語程度の本を「しっかりと読める」ようになれば、高校から大きく読書力・英語力を伸ばす事ができます。無理して長い本に手を出すのではなく、しっかりと読める本をしっかりと読む癖をつけていただければと思います。一方、この春から始められた方は、1冊200-500語程度の本が安定的に読めるようになりつつあります。新しく始められた方は、ここで焦らず、ゆっくりと長さの長い本に慣れていっていただきたいと思います。

- 本は好きな方なので楽しいようです。

- 娘のレベルにあった宿題の内容で無理なく学習しているようです。授業もためになると話していました。
- 本人は自分に合っている気がするといって、入塾させていただきました。まだ色々と聞いておりません。
- もっと難しい本も読んでみたい。
- 1学期のうちは、短くてやさしい本をしっかり読むことに集中してください。2 学期以降、テストの結果や、1学期の読書力の伸びを見て、徐々に難しい本にもチャレンジしていってもらいます。
- 授業での「一斉音読」は長文で少し大変ということですが、宿題の本のレベルや量を決められるのは良いと思う、とのこと。
- 少し読めるようになったと言っています。
- 楽しく通っているようです。
- 楽しんで通っているようです。
- 様々なジャンルの本を読むことができ、大変興味深いと話しています。
- とても優しく教えていただいて、とても楽しいそうです。
- 昨年と同様の感じで学習できている。
- 自主的にあまり話しません。ただ自主的に英語の本を読んだり、勉強することが増えてきたように感じます。
- とても楽しいと言っています。ただ昨年クラスが落ちてしまいました。多読パートが効率的に勉強できているのでしょうか。
- お子さんの個別の様子については、クラス会にてお話させていただきます。
- とにかく読んでいる、と申ししております。
- 学校の授業とスタイルが異なるので、新鮮な感じがしている。ただしまだ慣れていないので少し難しく感じる。
- 意欲的に取り組み、100 万語を目指しています。まずは 10 万語目指します。
- 100 万語を目指す意欲があるのは心強いです。お子さんの期待に添えるよう頑張って指導させていただきます。
- 読むスピードが遅くて心配な様子です。
- やさしい英文を分速 80 語程度で読めていれば、現段階では心配ありません。
- 少しずつ長い文章の本に触れられるようになったと喜んでいきます。
- 少しずつ難しいものにも取り組んでみたくなってきた。

- 楽しんで参加しているようです。以前より英語に真面目に取り組んでいる感じですが。
- 自ら特に話はしません。土曜は部活後にSEGなので遅刻してしまうことが気になります。
- とりあえず毎週通っていますが、細々ととにかく続けることが大事とはいえ、ないがしろにしているか不安です。楽しいとは言っていますが、慣れたのはいいですが、適当になっている気がします。
- 小さいころに読み親しんだ絵本やアニメの本を英語で読むことができ、楽しんで多読をしているようです。
- 次のテストが終わったらRクラスに移動したいと申し出ております。
■多読多聴 R クラスの方が授業中に読む時間が長いので、学校でも英会話の時間があり、塾では読書に集中したい方には向いています。
- 役立っている、と話しています。
- 楽しんでいるようです。

◇多読多聴Rクラスのアンケートから

■R クラスは、新規入会の方が多く、中1からの継続の方もおり、幅広いクラスです。個人指導の時間が長いので、個別なバックグラウンドに応じて、個別の対応をさせて頂いています。

- 単語をたくさん知ることができたようです。
- 自分の読みたい本をレベルに合わせて選んでくれるので楽しいと話しています。

Q2 お子様は多読クラスのNativeパートについて、どのようにお話をされていますか

◇中3多読Eクラスのアンケートから

中3クラスでは、英語で「聴く・話す・書く」を中心に授業を行っています。特に今年からは、「多書」ということで、5分間と時間を区切って、辞書なしにできる限り長い英文を書くという演習をとりいれました。普段の授業では、会話がメインですが、中3では、Creative Writing というこで、短いフィクションを数回の授業を使って書いてもらうということも行います。

- 気軽に楽しめてすごくいい。ネイティブの発音が聞けていい。
- 日本語を話さず英語だけを話してほしい、ゲームの時間を半分くらいにしてほしいと言っています。
■原則、授業は英語だけで行っていますが、単語の解説でたまに日本語を使う先生もいます。ご意見は担当の先生にお伝えします。
- 楽しい、役に立つと言っています。

- 要点を板書していただき、理解がしやすい。
- 作文(時間制限有)が始まったのがとても良いらしいです。
- とても楽しい。
- 新鮮で楽しいと言っています。
- とても良いのですが、ゲームの時間がもう少し少なくて良いかと申しております。
- 楽しく勉強しているようです。
- 今までと変わらず楽しく学んでいます。
- 5分間作文が楽しいそうです。
- ゲームや2人1組で話すなどのことがあまり好きではないようです。
- SEGの多読クラスでは、会話演習も重視していますので、2人で話しあうことも重視しています。最初は慣れないかと思いますが、英語を話す力は大学にはいってからどうしても必要な力ですので、今のうちから徐々に慣れていっていただきたいと思います。
- 今のクラスについては特にありませんが、講習を選ぶときなどは自分に合う先生を選んでいるようです。
- とても分かりやすく、色々な工夫をしてくださっていると伺っております。楽しみに参加しているようです。
- 授業中ほぼすべて英語(日本語なし)でよかった、と申しております。
- 最近では英語で発表する機会があるようで、そのような場には慣れていないのでとても役に立ちます。
- 先生のおっしゃっている意味も大体理解できて、バラエティに富んだ内容で楽しいと言っています。
- 役に立ちそう。
- 一部生徒が授業中に日本語で雑談して騒がしい。英語に集中したい。先生はとてもいい先生です。
- 楽しく受講できているが、学習の内容レベルとしては低め。
- やさしすぎる。
- このクラスでは、1学期の初期の授業では、日本語で私語をする生徒さんが3名ほどおり、結果的に学習内容がやや低めになったきらいがあります。担当の先生に聞いた所、今では改善されたとのこと。「学習レベルが低め」とのご指摘を真摯に受け止め、今後もさらに授業の改善に取り組みます。
- どのように息子が参加しているか知りたいです(楽しいようですが具体的には話しません、わたしもあえて聞きません)。

- よく分かって楽しい。
- 仲の良い友達もおり、英語の会話をするのも楽しい様子です。
- 楽しい。
- 最近聞き取ることができるようになり楽しいと話しています。
- 他の生徒さんたちが積極的に会話していて最初はびっくりしたけど、とても楽しいと言っています。
- 楽しいそうです。先生の話している内容もわかるようになってきて、本人が言うには「なんとかなっている」そうです。
- 積極的に話せる機会を有難く思っています。
- クオリティが高く、楽しいと申しております。
- 昨年英検を受験した際、かなりの得点をヒアリング部門で稼ぐことができました。どうしてこんなにヒアリングが好調だったの、と本人に聞くと「SEGのネイティブパートのおかげかな」と話していました。
- 英語が分かりやすい。
- 授業内でテーマに従って英作文に取り組んでいるようで、親の方が感心しています。拙い英語にネイティブの先生の感想や添削があり、励みにしているようです。
- ゲームなどをすることが楽しい。また日常会話を身近に触れることができるのがとても新鮮だと話しています。
- 先生が面白く楽しい。

◇中3多読Dクラスのアンケートから

中3Dクラスでは、英語でのGameも取り入れて、できるだけリラックスした雰囲気、「聴く・話す・書く」を中心に授業を行っています。また、今年からは、「多書」ということで、5分間と時間を区切って、辞書なしにできる限り長い英文を書くという演習をとりいれました。普段の授業では、会話がメインですが、中3では、Creative Writingということで、短いフィクションを数回の授業を使って書いてもらうということも行います。

- 面白くて良い、とのことでした。
- 不自由なく聞きとれているようで、問題はないようです。
- 一回の授業でもう少し多くの項目を扱ってもらえると助かります。
- 楽しい。海外の雰囲気を感じることができる。刺激を受け、やる気が出る。

- ネイティブの人と話す機会が日常ないので、貴重な経験となっている。
- 授業中の説明も分かりやすく、ジョークも面白いので楽しく受けているようです。指示なども本人8割方理解できているとの弁(残り2割は?)。
- ネイティブは少し難しい。
- 楽しい。分からないことも質問して解決できている。
- 今はまだよさが分からないが、回数を重ねていくことでよさが分かってくるように思う。
- 人前で話すのが苦手なので、子どもなりに努力はしているようですが、ドキドキし、話したいことが言えないと申し
ております。
■最初は、苦手な方も多いです。徐々に慣れていきますのでご安心ください。
- 自分の発した英語が先生に伝わったときは嬉しいと言っています。
- 分かりやすい授業だと申ししております。
- ハイテンションな Ross 先生がとても面白い、といつも色々話しています。“英語”として身構えることなくコミュニケーションできることを心から楽しんでいるようです。
- ネイティブの先生の話がよく理解できるようになってきた。
- 全部英語で初めは緊張したけれど、ポイントを絞って丁寧に説明して下さるとのことで、まだ学校では習っていない仮定法もSEGでやったところだけはよく理解できているようです。
■文法の説明も適宜、英語で行っています。英語で行なうため、根本のみ教えているのですが、それでかえってよく分かるという生徒さんも多くおり、私達としても安心しています。
- 全てを英語で話すことに多少ストレスを感じているようですが、ゲーム等が混じって面白いと言っています。
- 年々先生とのコミュニケーションもとれるようになってきたようです。
- 先生によって色々変わる。
- 文章を書くのが楽しい。
- ゲーム感覚でボキャブラリーや文法を学べて、コミュニケーションもとれるようになってきた。
- ネイティブの先生の発音を聞けることがとても良いと思っているようです。
- 今やっているところはかなり簡単に感じる。学校の進度がかなり速いのですでに終わっているなので、復習になっている。中1の4月～中2の2月、個別指導を受けさらにカリキュラムは進めていたため、少々ずれがあるようです。

○ネイティブ英語に親しんで、興味が湧いています。

○Writing が楽しいと言っています。

○楽しい。

○話す機会がもっとあると良いと言っております。できれば先生ともしっかり話が出来るが良いと言っています。

○楽しく取り組んでいるということです。

○楽しいと言っています。昨年までは他の生徒を外から眺めているだけだったようですが、今年は少し参加するようになったようです。

○文法が苦手なので何か対策をしてほしい。

■夏期講習等で、特定分野にしぼった文法講座を開講しています。

○授業が面白い。

◇中3多読Cクラスのアンケートから

中3Cクラスでは、「読む・聴く・話す・書く」を中心に授業を行っています。また、今年からは、「多書」ということで、5分間と時間を区切って、辞書なしにできる限り長い英文を書くという演習をとりいれました。まだ、語彙が少ない生徒さん、会話に慣れていない生徒さんも多いので、先生は平易な英語で、ややゆっくと話す、あるいは、同じ内容をいろいろな言い方をして理解してもらうよう工夫しています。また、普段の授業では、英語でのGameも取り入れて、できるだけリラックスした雰囲気の中で授業をするとともに、文法事項についても、適宜復習するようにしています。Creative Writing ということで、短いフィクションを数回の授業を使って書いてもらうということも行います。

○苦手だが、やっているといいと思う。

○グループに分かれて考えたり、ゲームなどを通じて楽しく有意義な学習をしているようです。

○楽しい。

○ゲーム形式の英語の遊びがあって面白い。先生も親しみやすく質問がしやすい。

○こちらも楽しいと言っています。

○クラスメートとゲームができるのでとても楽しいと話しています。

○とても分かりやすいそうです。

○昨年までと同様の学習ができている。

○学校より分かりやすいと話しています。

- とても楽しいと言っています。
- 学校の授業に似ているので比較的すんなり入っていける。現時点ではついていけていると感じている。
- 今まで習った知識で会話をするレベルを上げるのにとっても良い時間だと話しています。
- 先生がゆっくり話してくれるので大体わかるが、ヒアリングに自信を持ってないようです。
- 分からないときも多いが、同じことを何度も聞いていると何となくわかってきた。
- 多少聞きとれないパートがあるようです。友達に確認しているようですが、何故先生に聞かないのかと言っております。
- 無口なので英語ではさらに無口なのはと心配しています。
- まずは、「聴く」ことに集中していただき、次に、「書く」ことに慣れ、そして、「話す」ことに慣れるという順序が良いかと思えます。
- ネイティブの先生には申し訳なく思っています。本人にまかせているが全く宿題をしていない様子。
- ゲームを含め、授業はとても楽しいと話しています。
- 英会話は、学校でもやっているので、Rクラスに変更することを考えています。
- ネイティブパートなので、日本語のない状態になるといい、と話しています。
- 中3では、質問を日本語でする生徒さんがおりますが、高1、高2になると段々と、授業中の日本語は減っていきます。

Q3 保護者の方が通常の英語塾ではなく、多読の授業をお選びになった理由は为什么呢

◇中3多読Eクラスのアンケートから

- きちんと使える英語が身につくと思ったから。
- 長文読解を苦手にさせたくなかったから。長男が多読多聴Rに2年間お世話になり長文読解を苦手と感じなかったようだから。高校受験用の塾だと文法中心で長文を読む経験が少ないから。
- 文法の問題集を解いていくだけでは英語嫌いになってしまうのではないかと思いました。ネイティブの先生が授業を受け持つというところに魅かれました。辞書に頼らず原書を読んでいくところに魅かれました。
- ネイティブパートがあるから。

- 社会に出てからビジネスの現場で、長文を読みこなす力は不可欠と感じているため。ヒアリング、会話もここまで力がつくことは正直予想していませんでした。
- 将来、社会に出たら、会話力は必須ですので、SEGでは、会話力の育成も重視しています。
- 妻が選びました。
- 将来役に立つ英語力を身につけることを希望して。
- 受験のためのみではなく、将来実践的な英語力を身につけてほしいと思い選択しました。
- リーディング、スピーキングができるようになりたいためです。
- 本人が読書好きであることと、帰国子女のため通常の英語塾では力が伸ばせないと思ったから。
- 読書が好きなので、無理なく取り組めると考えたから。
- 英語の本当の実力をつけるためには多読が一番良いと思ったから。
- 大学受験だけにとらわれた勉強にしたくなかったからです。
- 読書好きに合っている勉強の仕方だと思ったので。
- 単語(語彙)数が増えると思うから。
- 自分で多読を進めるほど英語という教科に興味をもっていないこと、多読しようとする強い意志を持っていないこと。先生や小集団で教わることで頑張れるのではないかと思い、入塾させていただきました。
- 将来外国に留学する可能性もあり、英語の文章をたくさん読むことに抵抗のないようになってほしいので。
- 最近の大学入試はかなりボリュームのある長文読解問題が出題されているようなので、長文読解に慣れておくことが大切だと思い選びました。
- 英語をより身近に感じてもらうように選びました(姉が楽しく通っているので)。
- 受験テクニックのみ身につけるのではなく、英語そのものを好きになってほしかったから。
- 子供が行きたいと言ったから
- お子さんの希望を尊重していただき、ありがとうございます。
- 文法をある程度理解した時点で、多くの本を読む経験が本人の英語の実力を上げるのに良いかもしれないと考えたため。ライティングがあるのも良い。
- 将来仕事などで英語を使うときのために受験英語以外にも英語に馴れ親しむ機会を得たかった。
- 使える英語が身につくのではという期待から。

- 英語を勉強としてではなく、楽しいものだと感じてほしいと思うため
- 英語を楽しく、かつ自然体で学ぶことができ、速読力も養われるため、受験だけでなく将来的にも役に立つと考えられるから。
- 英語力は多く読むことで養われるとの父の実感から。
- 高2の兄が多読で力をつけたので、高校受験までに長文に怯まない読む力をつけさせたいと思ったから。
- 本人が「多読が楽しい」と言い、本人自身が決めました。
- ネイティブの先生が多いから。
- 将来的に使える英語を身につけさせたいからです。
- 文法は基本的には学校の授業とラジオ基礎英語で試験・検定に十分対応できるから。「読むこと」に慣れるのは良いことで、日本語の国語力も読書によって身についたから。
- 実際に使える英語を身につけるため。
- 当初は数学を受けさせるつもりで英語は「おまけ」であったが、本人の希望で英語だけ残りました。
- 学校の授業とはまた違う形で英語を学んで、より英語に接してほしかったため。
- 読書家なのでぴったりだと思ったから。
- 英語の力というものを考えたとき、最終的に Reading が重要と思うため。
- 自身の経験から長文読解が苦痛に感じたからです。もっと日頃から英文に慣れておけばあんなに苦手意識は持たなかったのではと後悔の思いがあったためです。
- 0～6歳半まで海外生活だったので、日本でも少しでもネイティブの英語に触れさせたい。息子の「感覚で英語を学ぶ」というところを失わないように。
- 将来使える英語が、楽しみながら身についたらよいと思ったため。
- 試験向けの英語ではなく使える英語を学ばせるため。
- 英語を勉強するというより多読を通して自然な形で修得できると考えたから。

◇中3多読Dクラスのアンケートから

- 英語にアレルギーをもたずに、文法に偏ることなく母語のように英語の本を読めるようになってほしいから。
- 受験英語だけでなく社会に出てから通用する力をつけてほしいため。
- 英語を楽しみながら勉強していければと思ったため。
- 実践的な英語力がつくと思いました。本人は気に入っているようですが、親としてはまだまだ力不足です。引き続きご指導のほどお願いします。
- 多読によって英語の文章を自分でよく理解し、文法や英語力以上に類推し内容をとらえることができるようになる考えたため。
- 残念ながら両親が中学生の頃には身近に英語の文章をたくさん手に入れられる環境はなく、子供には英語の様々な良質で面白い文章を読ませたいと思っておりました。英語の文章を速く大量に読みこなす力が今、最も求められてきているという古川先生のお話にも納得させられ、中1の時から通塾させていただいております。
- 耳慣れのため。受験用英語はあとからでも間に合うので。
- 大学受験の長文読解に強くなってほしくて。
- 英語を英語のまま吸収する訓練ができるため。
- 受験のためではなく、その先のことを考えて選びました(論文、仕事など)。例えば英文の資料などにめげず、英文を読むことに抵抗を感じなくなることを期待しました。
- 文法等の講義での一方的なものではなく、英会話もあり、英文を戻って読まないようにする指導に魅力を感じたため。
- 文法を中心に学習したり、単語を必死に覚えても使える英語力にはならないと思ったので。CDがついている多読は素晴らしいと感じています。
- 本人がもともと本を読むのが好きであることと、SEGの自由な雰囲気子どもに合っていると思ったので。
- 本人の希望により入塾させていただきました。
- 個人では購入しきれないほどの洋書の数々に触れることができるのが大変魅力的でしたので、文法の先取りよりも多読の授業を選びました。
- 英語の原書を読み、見聞を広めてほしいから。
- 中学生のうちから点を取る勉強としての英語ばかりをやるのは、最終的に英語嫌いになってしまいそうで、好きな読書という切り口から英語に触れたらどうだろうと考えてすすめてみました。

- 与えられるだけでなく、自分から英語を使って表現する環境に身を置いてやりたいと思いました。
- 将来使える英語を身につけてほしいから。
- 本が好きなので、本が読めて自然に英語が身につけてくれると良いと思ったから。
- 多読の方が本当の英語力がつくと思ったので選びました。
- 本人が(朝日小学生新聞の)新聞広告か記事でSEGを知り(小6の時)、当時から大好きだったハリーポッターを洋書で読めるようになると書いてあり、どうしてもSEGに入りたいと言ったため問い合わせると、中 1 からのクラスしかないとのことで、中学進学と同時に入塾しました。
- 社会で実際に使える英語でのコミュニケーションや英語力をつけさせたいと思いました。
- 母が大学受験のときに一番得意で点を稼ぐことができた実感しているのが長文読解であり、多読も自力で取り組んだことが実力につながったので。ぜひ多読をやらせてみたいという希望があったため。医大に現役合格できたのは英語のおかげだと思っています。
- 好きな読書から英語を学んでほしい。
- 実用的な英語を学べると思ったから。
- 原書を読むことができるから。
- 本人の希望です。楽しく勉強しているので良いと思います。学校の成績がいいので驚いています。
■学校ではトップクラスの成績、また、GTEC の成績も学校でトップだったと聞いています。おめでとうございます。
- リスニング向上のためと、本質的な英語教育を受けさせたいため。
- ネイティブの先生の授業があり、実際に能動的に英語を使っていくスタイルが良かったから。本人が読書好きなので、多読は合うと思いました。
- 英語が日本語を介さず英語のまま理解できるようになる。
- 使える英語の修得のため。
- 英語を英語のまま理解することができるようになれば良いと思い選びました。
- 多量の英語に触れさせたい。ヒアリングを強化させたい
- 幅広く英語に触れてほしいため。
- 読書が好きなのでぴったりだと思ったから。

◇中3多読Cクラスのアンケートから

- 会話、長文への抵抗をなくすことと、人前で話せる勇気を身につけられること。
- 兄が通っており、高い成果をだしているので選びました。
- 英語は嫌いではなさそうなのですが、日々の勉強をコツコツすることができず、どうしたものかと思案しておりました。まずは本人がSEGを選んだので、よろしく願いいたします。
- 通常の英語塾より、長い目線で見た場合多読の方が役立つと考えたため。
- 長文を正確に速く読める力を身につけてほしいと思いました。自学や学校だけでは難しいと思い、多読を選びました。
- 将来原書で本を読めるようになりたいと本人が希望したため。
- 楽しく通えて、学力が伸びることが理想的です。
- 本当の読む力がつけばと思いました。
- 生きた英語に触れてほしいと思ったため。
- 子供が英語の本を読むことが好きだからです。
- 文法中心ではなく、広い英語力が養えると思ったので。
- 読む量を増やすと、単語・語句がどう使われているかより理解しやすいと思いました。
- もともと好きな英語をさらに楽しめるように。勉強といった枠組みにとらわれないところが気に入っています。また、読書も興味のため。
- 楽しく英語を勉強してもらいたいと思っているので。
- まずは浴びるように英語を受け入れてもらいたいと思い選択しました。
- 大学に入ることがゴールの英語ではなく、職に就いた後でも使える英語を学んでほしいと考えているから。
- 受験のための英語ではなく、その先の使える英語を身につけさせるため。
- 大学受験につながる読解力の強化。エンパワーメントプログラムを受講するにあたりヒアリング、ライティングの強化に特化していると思ったから。
- 楽しみながら英語学習に取り組んでほしかったため。
- 納得できないと理解できない性格なので、自分のペースで進める多読がいいと思いました。

- 学校の授業が多読のため。
- 付属校なので受験のための文法、ボキャブラリー記憶型よりも、文章を読めた方が役立つと思いました。また、英語は苦手ですが読書は好きなので、本人が多読を希望しました。
- 小学校の頃ORTを買っていたので、さらに購入するより、色々とその子に合った本を客観的にすすめてもらえるSEGの多読に魅力を感じました。学校で Reading 力をつけるのは、文法等で終わってしまって、難しいと感じているので。
- 英語を英語のまま理解できる力を身につけたいと思ったので。
- 学校のテストが長文読解ばかりで、多読をさせて時間内にすべての問題を解かせたかったため。
- 英語を学ぶことが楽しいと感じてほしかったので。
- 英語に親近感を抱いてほしいため。

◇多読多聴Rクラスのアンケートから

- 受験だけの英語ではなく、読書を英語で楽しんでもらいたいと思ったから。
- 学校でも多読が始まるため学習方法について指導していただけたらと思ったため。

Q4 大学受験に向けて、今後、SEGの英語多読クラスに対する要望や気になる点・ご質問等がございましたら、お知らせください

◇中3多読Eクラスのアンケートより

- 次男は高校受験も考えつつ国立医系志望です。高校に入ってから塾をどうしようか気になっています。具体的には「多読を出来る限り続けさせたいが、多読だけで良いか」です。
- 多読だけで、東大理 III、医科歯科大医にはいっている方もいます。多読で ACE の点数が着実に伸びているのであれば、もちろん、SEG の多読クラスといえども、高 3 では受験対策をするので、多読だけでも十分に合格可能です。
- 個人的には大学受験のための英語は不要で、コミュニケーションのツールとしての英語がどれだけ本人に身につくかが重要と考えています。先生や生徒同士のディスカッションやプレゼンテーションがあるとよいと感じます。
- 高 1、高 2 のクラスでは、生徒同士のディスカッションやプレゼンテーションの時間は、非常に増えてきます。

○止むを得ず欠席することもあり、抜けた部分を家庭で学習していますが理解に不安が残ります。学習要点のまとめなどが分かれば大変ありがたく思います。

■Native Part は、会話演習や、作文演習が中心なので、学習要点のまとめというのが作りにくいですが、native の先生と相談し、何らかのフォローができないか検討させていただきます。

○受験でも高得点が獲得できるようお願いいたします。

■多読で足りないところは、「精読的な要約」、「精読的な和訳」ですが、それは、大学受験に間に合うよう、高2から始めさせていただきます。高1までは、「多読する」、「会話する」、「作文する」に集中していただければと思います。

○多読が大学受験にどうつながっていくのか分かりませんが、長文への抵抗感がなくなり、取り組めると安心しています。

○『ハムレット』などとても興味深い教材を使用いただいているので、本人がどこまで深く内容を理解できているか、日本語でも結構ですので読解できた内容を書かせたものを自宅で見せていただければ嬉しく思います。心情の把握など日本語でも困難な作業ですが、英語となると全く出来ていないのでは、と心配になっております。

■中3多読Eクラスでは、あらすじはみなさん理解していますが、「心情」となると、現代人の感覚とずれているので、必ずしも理解できていないのが現状ですが、それは、中3という年齢と、時代背景の違いを考えるとやむを得ないかと思えます。

○多読では知らない単語は読み飛ばし、どんな単語だったのかも全く覚えていないそうです。何度も登場してもおそらく気づかないと思うので、単語、イディオムが不安です。文法についても訓練されていないので、文を書く際に「何となく意味が通じればいい」という感じになっていないかと思っています。

■お子さんは、そんなに難しい本を読んでいるわけではなく、基本400語レベルで書かれた本を中心に読んでいます。ですので、何度も登場した単語は、気づかぬうちに覚えていると思います。1学期のテスト結果で語彙が伸びているかどうかで確認ができるかと思えます。文法については、どこかで意識する必要があります。時々、個別にフォローしてみたいと思います。Writing ですが、最初は、「何となく意味が通じればいい」という感じで構いません。それを除々に、文法的に正しい文章をかけるよう、授業中での訓練で修正していきます。

○大きく見れば実際に使える英語を身につけさせたいのですが、やはり大学受験を考えたときに、暗記やテクニックで点を取る学習が必要なのでしょうか。今のところ息子はそのような勉強を特に英語ではしたくないといっていますが。

■高3受験時には、入試頻出単語を一定程度暗記することは残念ながら必要です。テクニックで点をとる技術は特に必要ではありません。ただし、精読する技術＝「文脈がきちんと繋がるように、同格、省略に注意して正確に読む技術(和訳する必要は必ずしもありません)」は、必要です。「精読する技術」については、高2から、入試頻出単語の暗記は、高3でやっていただきます。

○(まだよく分かりませんが)受験用だけでなく、実践でも使える力をつけてほしい。

○多読のおかげで英語の本を読むのが楽しいようですが、文法を含め、書くのは微妙な感じですが。本人は単語力をつけたいそうです。

■単語力を伸ばすには、Graded Readers を読んだ際に、巻末の語彙リストで確認するのが一番ですが、何か有名な単語帳をやるのもお勧めです。

○本人が文法の進度を気にしています。

○いつも楽しい授業をありがとうございます。

○学年が上がり、物理や化学の勉強に取り組むようになった場合、多読を続けていけるかと漠然と思っています。

■多読は、一旦慣れてしまえば、隙間時間を使って続けることができるので、物理や化学の勉強と両立させやすい学習法です。2014年に東大理科3類に入った多読生は、「多読はもっともコストパフォーマンスの高い学習法」で、お陰で、数学・物理・化学の受験勉強に十分に時間を回せたという合格体験記を書いていました。

◇中3多読Dクラスのアンケートから

○単語と文法力をつけるために(あまり苦勞を伴わずに)効果的な学習法はありますか？(多読の補完として)

■英文日記とかはどうでしょうか？一日2行でも、3行でも構いません。Outputすることで、単語の綴りを覚え、また、自分で書いた文を自分でチェックするだけでも、文法的により正確な英文を書けるようになっていきます。

○高校進学後も基本的に今のような授業スタイルなのでしょうか。大学受験も変化することが報じられていますが、対策はお考えなのでしょうか。

■高1, 2のOral Communication (native part)の授業では、生徒同士のディスカッション、プレゼンテーション、エッセイライティングをより重視していきます。また、多読partでは、高2からは、文法チェック、和訳、精読、英訳も短時間ながら入れていきます。高3では、大学受験の最新の傾向を意識した授業となります。

○高校生のプログラム内容。大学受験対策に過度に傾くことなく実力をつけられる内容にして欲しいと考えております。

■過度に大学受験対策に傾くことはないですので、大学系列高、付属高の方も多数が高3まで通われています。高3については、大学受験対策かなりシフトした授業になっていますが、大学受験自体も、ガチガチの受験問題は最近少なくなっているので、普通の予備校に比べると「受験予備校」ぽさは少ないです。

○大学受験が大きく変化しているので、対応できる力をつけさせてください。

○確実に実力が身につけていくようご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

○反抗期も重なり、学習面全般に中だるみの目立つ時期なのか親の目から見ると惰性でやっていると思えない場面もありますが、とりあえずは継続は力なりと念じながら静観しております。

○文法は自然と暗記されていく……と話されていますが、実際のところ文法は大丈夫でしょうか。子供は文法に弱いです。

○ライティングなど、さらに使える英語の学習をしてほしいです。

■文法の「学習でない」学習法として、native partで5分間の自由英作文をとりいれています。実際に文章を書くことで、文法の必要性を意識させ、文法的にも正しい英文を書けるように指導していきます。

○多読だけで受験に対応できるか不安に思っております。

○高校の多読クラスでは、大学受験対策としての文法や読解などは特に意識したカリキュラムではないのかどうかなど、お話を伺えるとありがたいと思います。

■多読 part では、高2からは、文法チェック、和訳、精読、英訳も短時間ながら入れていきます。高3では、大学受験の最新の傾向を意識した授業となります。

○相変わらず単語学習は学校でやったことのみ。文法も大抵平均点で、SEGの多読をやって伸びたと実感することは今のところありませんが、長い目でみていくことにして大丈夫でしょうか。

■読める本のレベルが着実に上がってくれば、あるところで、読解力は急速に上がります。

○先日多読の振替で他クラスに出席したとき、そのクラスはあまりに私語が多く集中できなかったと言っていました。現クラスの雰囲気が良いので、クラスによって違いがある点が気になりました。

■大変失礼しました。担当の先生から話を聞きましたが、その後、振替先のクラスも改善してきているとのことです。(ちなみに、担当の先生は、日本人、native とともに元のクラスと振替先クラスは同一の先生の担当です)

○今のところ内部進学するつもりですが、万が一他大学受験すると本人が希望したら、どのように準備するべきか、またいつから準備が必要かなど、ご相談させていただくかもしれません。

■理系・文系かによりますが、一般受験をする場合には、数学を早目に仕上げるのがお勧めです。

○全寮制の学校に通っているため、中間・期末考査の前は宿泊して勉強すると欠席分を振替できないことになってしまいます(年 5、6 回)。前もって予定をお知らせして、欠席日の前後でフォローアップしていただけることは大変有難く、深く感謝申し上げます。今後もよろしく願いいたします。

○英文法が非常に弱く大変困っております。学校でもやらないので、効果的な学習方法をアドバイス願います。

○読解力が身につけてきたと思います。文法が弱いので、もう少し文法を教えていただきたいと思います。

■中3生対象の文法講座を開講しておりますが、今後は、高1生対象の文法講座も拡充していきたいと思っております。

○(受験ではなく)借りてきた本をきちんと返却しているか気になります。

○現役で医学部に合格させたいです。対策もぜひお願いしたいです。

■国立か私立かでもかなり対応が異なりますので、会員相談室まで早目にご相談下さい。

○難関大学の入試では英語の文章が長文化していると同いいますので、多読はとても良いと思うのですが、わが子の語数が遅々として増えていかないので、間に合うのだろうか心配です。もう少し積極的に読んでほしいと思うのですが。

◇中3多読Cクラスのアンケートから

○単語力や文法について、宿題など出ているのでしょうか？(システムがよく分かっておりません)

■単語や文法のみ宿題というは出していません。語彙・文法も含めた総合英語の形で宿題がでています。

○文法が苦手で入塾させていただきましたが、残念ながらまだあまり効果がないようです。本人の努力不足なのか、また英語の勉強の仕方がまだよく分からないようです。本人もやや不安に思っているようなのですが、どのくらい力がつくと考えておけばいいですか。

■多読で文法は獲得されますが、時間がかかります。易しい本を着実に大量に読んでいけば、1年間で基礎的な力はつくかと思います。

○本人としてはどちらかという「受身」ですので、先生の方から積極的なアプローチがあると助かります。

○文法がよく分かっていません。単語力も少ないです。

○英語はコツコツ長年地道にやって成果が出ると思います。国立理系を受験する場合、高校生で早目に習慣づけた方がよいことがあればご教示いただければ幸いです。

■高3時には、理科を集中的に学習することが必要になりますので、高1・2のうちに、英語・数学の基礎を固めておく(英語の教科書に出てくる単語の意味・綴りはしっかり覚える、数学の教科書の章末問題は確実に解ける)ことが良いです。

○部活に追われ、宿題がおろそかになってしまうことが心配です。

○楽しみながら覚えていければ上達も早いと感じており、その点、役に立つ授業をしていただいていると思っています。

○今後英語の受験のスタンダードが変わっていくと聞きました。SEGでTOEFLなど受けられるようなことはあるのでしょうか

■高2クラスでは、iBTではありませんが、IPTの形のTOEFLを、年2回全員受験してもらっています。高1や高3の方も希望があれば受験可能です。

○SEGも学校も成績が下がっています。中だるみの真最中ですが、そこで興味をもたせるというか、英語の関心を広げさせるというか、モチベーションをアップさせる何かを期待します(モチベーションを上げる何かはSEGにはあってほしいです)。

■より本人にとって刺激的な本を薦めていきたいと思います。

◇多読多聴Rクラスのアンケートから

○大学受験の前に高1で留学したいそうです。留学できるように多読で英語力を伸ばしてほしいと思います。

■夏期の短期留学でしょうか、それとも、1年間の長期留学でしょうか？ 長期留学をするのであれば、300万語読んでから留学するのがお勧めです。短期留学でしたら、100万語程度でも、十分だと思います。